

各部会のまとめ

2017年度（平成29年度）

福山市立東中学校区小中一貫教育推進協議会 部会最終報告

<ふるさと学習部会>

1 本年度の部会の目標

- ・ふるさと学習を通して、福山に愛着を持つ児童，生徒を育てる。
- ・福山，地域の歴史に興味，関心を持たせる。
- ・「大好き 福山」の活用を図る。

2 部会のこれまでの日程

- ・5/19 第1回 合同研修会
- ・8/29 第2回 合同研修会
- ・2/22 第3回 各校代表者会

3 取り組んだ内容

- ・5/19
 - ・各学年のふるさと学習の単元内容の確認
 - ・今年度の取り組みの提案・確認
- ・8/29
 - ・ふるさと学習の交流方法
 - ・作品の巡回についての確認
 - ・「知っとる検定」の問題作成について
 - ・中学校の文化祭への作品搬入の確認
- ・2/22
 - ・代表者による年度末の振り返り
 - ・「知っとる検定」の問題作成
 - ・次年度の方向性

4 まとめ・検証

- ・作品の巡回により，学習の交流を行うよう時期を決めていたが，多くの学年でできていなかった
ので，残りの数日で行う。

5 来年度に向けて

- (1)ふるさと学習の交流・・・資料を持ち寄り，交流を行い学習の内容を深める。
(DVD，新聞，パンフレット等)
 - ・成果物（途中結果の報告でもよい。）の交流を行う。
 - ・作品の内容の幅を広げる。2学期中に行う。
 - ・中学校の文化祭に，小3年の作品を掲示していただく。
- (2)知っとる検定の作成・・・福山・地域に関心をもたせるために，各校で問題を作成したものを集約し，他校の児童に答えてもらう。
 - ・1学期から取り組む。（前年度の問題に取り組ませる。）
 - ・2学期に問題を作成し，知っとる検定に取り組む。
- (3)「大好き 福山」の活用の交流を行う。
- (4)ふるさと学習の冊子（6年生），まとめて中学校に持参する。

<生徒指導部会>

1 本年度の部会の目標

- (1) 生徒指導三機能を活かした教育活動の推進
- (2) 規律三要素を基にした授業実践

2 部会のこれまでの日程

- (1) 5月17日(水)
 - ①小中一貫教育の目標と校区スタンダードの検討, 見直し
 - ②生徒指導規程の確認
- (2) 8月29日(火)
 - ①生徒指導三機能を活かした教育活動の推進について
 - ②規律三要素を基にした授業規律の実践
 - ③重点項目の確認

3 取り組んだ内容

- (1) 東中学校 **規律三要素の取組**
 - i. 朝のあいさつ運動(全職員・生徒会・部活動・PTA)
 - ii. 授業規律 始業・終業のあいさつの徹底
 - iii. 時間を守る取組(3分前入室・1分前着席)
 - iv. 全校に委員会活動の取組を共有する機会を設ける。
- (2) 旭小学校 **「自立」から「自律」への目標**
 - i. あいさつ運動(児童会とタイアップ・あいさつ通りを設定する)
 - ii. 教職員の意識統一
 - iii. プロ宣言(年間で取り組む目標を各児童が設定し, プロを目指す)
- (3) 深津小学校 **頑張っている・しっかりやっている児童の評価**
 - i. あいさつやるんじゃ一週間(児童会・教職員)
 - ii. 縦割り掃除
 - iii. 委員会活動の充実
 - iv. 授業前のあいさつの徹底
- (4) 手城小学校
 - ①ルールを守れる学校
 - i. 校門での名札チェック, 放送, 掲示, 家庭連携
 - ii. 「だまってそうじ」巡回指導, 放送
 - ②思いやりが通い合う学校
 - i. 考え議論する道徳, 成長の自覚化(ふりかえり), あいさつ運動
 - ii. たてわり活動, 集団遊び, 個別の指導計画

4 まとめ・検証

(1) 東中校区での生徒指導上の小中ギャップの解消

①頭髪における意識統一（ツープロック，編み込みなどの特異な髪型は不可）

(2) 東中学校

① 挨拶レベルの向上

i. 朝のあいさつ運動の充実から日常のあいさつの徹底

② 時間を守る

i. 8時25分登校の定着（安易な遅刻をさせない）

ii. 3分前入室・1分前着席

③ 環境を整える

i. 教室環境（ロッカー・掲示物の整理）

ii. 校舎内・校舎周辺的环境美化

④ 自己肯定感の向上

i. 毎月1回の生徒集会の設定

(3) 旭小学校

i. 年間取組にすることで地域の方からの肯定的評価が増えた。

ii. 「学校生活のきまり」を守って過ごす児童が増えた。

iii. 年間目標を持って活動することができた。

(4) 深津小学校

①規律三要素（「あいさつ」「時間」「掃除」）の徹底

i. 「あいさつ」…あいさつ運動

ii. 「時間」…3分前放送

iii. 「掃除」…縦割り掃除

(5) 手城小学校

①規範意識を高める

i. 共通理解（職員研修，全校集会，生徒指導便り）

ii. 重点指導（児童会月別目標，校門当番）

②自己肯定感を高める

i. 自分にはよいところがある（ノート指導，名人バッジ，各種表彰）

ii. 学校が好き（なかよし集会，無遅刻・無欠席，漢字の定着）

5 来年度に向けて

①生徒指導上の小中ギャップの解消

i. 生徒指導規程，生徒指導細則の小中間の生徒指導ギャップの解消

ii. 小学校高学年6年と中学1年生の生徒指導は同じ指導方針で実践されなければならない

②児童生徒間の交流をさらに価値のあるものにする

i. 体育大会リハーサル

ii. 東中学校オープンスクール

＜特別支援教育部会＞

1 本年度の部会の目標

- ①個の実態交流（小6の進路・卒業生の進学及び中3の希望進学先を中心に）
- ②中学入学に向けての入級の意向の把握と連携
- ③校区スタンダードの各校の取り組みについての交流
- ④「個別の指導計画」の作成及び留意点等についての交流（知的・情緒）

2 部会のこれまでの日程

- ①東中学校体育大会リハーサル見学
- ②手城小・深津小学校6年生、東中学校特別支援学級を授業参観・懇談
- ③「校区スタンダード」「個別の指導計画」に係っての小中連携
- ④東中学校オープンスクール参加

3 取り組んだ内容

①個の実態交流

- *現在、特別支援学級在籍の6年生が知的1名、情緒7名いるが、東中学校入級予定者は情緒1～3名程度の予定である。今後の動向を適宜連携していく。
- *中学3年生の希望進学先の情報交流。近年、公立・私立とも様々な高校へ進学している。（コミュニケーション力を培うことが大切）
- *中学2年生のチャレンジウィークにおける職場体験実習先の紹介。
それぞれの職場で意欲的に取り組んでいた。
- *小学校の特支の卒業生が中学校で頑張っている様子を聞くことができ大変参考になった。
また、これから中学校への進学についての小・高学年の保護者からの相談への助言の手掛かりとして引き続き情報交流・連携を密にしていきたい。

②「校区スタンダード」については、できる範囲で行っていく。

③「個別の指導計画」についての交流

- *今年度から新様式になり、持ち寄った計画をもとに意見交流を行った。

4 まとめ・検証

児童生徒個々の実態交流を細かく行うことができた。中学卒業後の進路については、最新の情報（今年度、新しく開校した学校もあること）を聞くことができ、大変参考になった。

5 来年度に向けて

- ①引き続き、児童生徒の「個」の交流を密に行う。小中の特別支援学級で、兄弟関係のある家庭についても情報共有を適宜行っていく。
- ②再来年度、中学へ入学予定の児童についても情報交流をしていき、宿題・テストなどに少しずつ慣れて中学校への心構えをもてるようにしていく。

<体力向上部会>

1 本年度の部会の目標

- ①東中校区共通の課題への取組（握力・投力・走力）

2 部会のこれまでの日程

- ①東中学校体育大会リハーサル見学
- ②東中学校体育授業参観
- ③体力一斉活動日の実施・見学
- ④各校の新体力テストの交流
- ⑤東中学校オープンスクール参加
- ⑥部活動対抗駅伝実施・見学

3 取り組んだ内容

- ①東中学校体育大会リハーサル見学
 - ・小6の体育大会リハーサルの見学をおこない体育大会の雰囲気を感じ、行進・校歌を歌う姿を見て進学に対してトップイメージを抱けた。
- ②東中学校体育授業参観
 - ・中学校の体育授業を参観し、集団規律・授業構成を交流した。
- ③各校の新体力テストの交流
 - ・体力一斉活動の時期に応じた活動内容。また、授業において補強運動の実施をおこなった。
- ④東中学校オープンスクール参加
 - ・校区スタンダードの授業前後のあいさつ
 - ・中学校への部活動への参加。東中オープンスクール。
 - ・小学生へのスポーツ教室を実施。（東中学校バスケットボール部）

4 まとめ

- ①小学校の児童会，中学校の生徒会の交流ができた。中学校の行進のイメージが持てた。
- ②中学校の取組を各小学校の担当との交流ができた。課題を意識した補強運動の取組みができた。
- ③中学校の部活動への参加による中学校への進学イメージを持たせる。

5 次年度に向けて

- ・課題であった（握力・投力）は改善できたが、走力（50m）は改善が見られず、来年度も引き続き東中校区共通課題として設定する。
- ・東中校区で、新体力テストの種目別の順位を各校に掲示し、校区表彰をおこなう。
- ・東中校区の体力向上担当の授業を参観し交流をおこなう。

<学力向上部会>

1 本年度の部会の目標

- ・「学習の基礎・基本ハンドブック」を活用し、東中学校区の学習規律をそろえていく。
- ・基礎・基本及び全国学力テストの分析をふまえ、授業改善を進める。
- ・校区チャレンジウィークを実施し、児童の基礎学力を高める。

2 部会のこれまでの日程

- 第1回 小中一貫教育推進協議会
- 第2回 小中一貫教育推進協議会
- 第3回 小中一貫教育推進協議会 代表者会

3 取り組んだ内容

- ・「学習の基礎・基本ハンドブック」を活用
- ・チャレンジウィークの取組
- ・基礎基本及び全国学テ・標準学力テストの分析

4 まとめ・検証

○成果

- ・「ハンドブック」に取り組むことで学習規律が定着してきた。
- ・学力テストの課題を分析し、取り組む内容を整理することができた。
- ・チャレンジウィークを校区で取り組むことで勉強への意識が高まった。

○課題

- ・校区スタンダードアンケートを実施しているが、各校の取組に生かされていない。

5 来年度に向けて

- ・「学習の基礎・基本ハンドブック」を学期始めの学活で活用し、学習規律の確認をする。
- ・学力テスト 12月下旬に実施
- ・カリキュラムマップを活用して、関連付けた単元構成をして、授業づくりに生かす。

<授業改善部会>

1 本年度の部会の目標

「対話活動を通して 友だちから学んだり自分の考えがもてたりする児童の育成」

2 部会のこれまでの日程

5月…部会（本年度の目標及び年間計画作成）

8月…部会（1学期の交流及び成果・課題）

2月…部会（年間の反省及び次年度の方向性）

3 取り組んだ内容

○東中学校 …特別活動において

- ・自分たちが決定していく（合意形成・意思決定）生徒主体の学び
- ・効果的な小集団活動（4人班）模索中
- ・「学び合い」の取組で生徒同士教え合う学び

○手城小学校…道徳を主として

- ・学習のプロセス1・2・3にこだわり指導
1（課題）2（対話）3（振り返り）
- ・考えを議論し深める対話活動の推進

○深津小学校…算数科を主に

- ・対話活動の在り方の研究
1対全から→1往復半の対話

○旭小学校 …理科・生活科を主に

- ・どこの場面で何のたまた対話活動を設定するのか
- ・学習用語にこだわり学びの質を高める授業

4 まとめ・検証

アンケート「対話活動を通して友だちから学んだり自分の考えが持てたりする生徒児童」の割合

○東中学校…7月 86.8% 12月 91.4%

○手城小学校 90.9%

○深津小学校 81.7%（教師 93.3%）

○旭小学校 92.8%

5 来年度に向けて

次年度も継続して効果的で学びが深まる対話活動の在り方の研究を行う。